

## トノサマバッタ

## 「バッタ目・バッタ科」

子供の頃に草原で追いかけたことのあるお馴染みのバッタといえば、トノサマバッタとシヨウリヨウバッタでしょう。どちらも草原にいる普通のバッタですが、なかなか採ることのできないトノサマバッタの方が、人気がありました。

上手な子は着地する場所を予想して追いかけて、着地後に再び飛び立つ直前に捕まえます。◆平野部では草原が減ったため、なかなか見られなくなってきましたが、越生町ではまだ各地で見られます。トノサマバッタは古くから知られており、近代生物分類の基礎を体系づけたリンネにより、世界共通の名前(学名)が記載されました。アジアからアフリカ、オーストラリアに広く分布し、日本では北海道から与那国島まで、ほぼ全土に分布しています◆時に、大発生して大群(飛蝗)を作り、

作物に大きな被害を与えます。この飛蝗は群生相と呼ばれるもので、通常のもの(孤独相)より細長いため、以前は別種と思われていました◆一般には鳴かないと思われやすいバッタですが、オスはメスの近くで、後脚で前翅を擦って「トゥルルル」と発音します。また、実は年2回発生であることも、あまり知られていません。1回目は埼玉県では6月中旬頃から現れるので、ぜひ探してみてください。(和田一郎)



産卵中のトノサマバッタ

※「昆虫と自然の館」(梅園コミュニティ館内)では、夏休み中もいろいろ楽しい企画を考えています。ぜひ、遊びに来てください。詳しくは「まなびあい」をご覧ください。

## Art Museum

## おごせ アートミュージアム

2年 森谷 彩花さん  
『わたしのお顔』3年 堀 航大さん  
『そらのこん虫テーマパーク』

## 越生小学校

## 7月の納税

固定資産税 第2期  
国民健康保険税 第1期  
(7月31日まで)

## 人口と世帯

6月1日現在  
( )は前月比

総人口 12,710人(-4)  
男性 6,337人(±0)  
女性 6,373人(-4)  
世帯数 4,964世帯(-4)

## あとかき

6月10日、毛呂山町総合運動公園へ、西入間支部消防ポンプ操作大会の取材に行ってきました。火点(放水の標的)の間に陣取り、カメラを構えていましたが、選手みなさんの気迫みなぎる操法に終始圧倒されっぱなしでした。全ての操法を見させていただきましたが、ひいき目なしに、越生町消防団員のみなさんの操法は、他の町のそれに比べて特に輝いていたように感じます。隣の消防団に属する自分としても、今後の消防団活動に大きな刺激を受けました。

選手みなさん、そしてサポートにあたっていただいたみなさん、数か月間にわたる練習、本当に疲れ様でした。(月)